



表紙写真

【海を渡る水牛車】
(由布島)

由布島は、西表島の東部に位置し、西表島と小浜島の間に浮かぶ周囲2キロ、13世帯・17名(H21.2末住基台帳)が暮らす小さな島です。

過去には、竹富島や黒島の住民が由布島に住を移し西表島で稲作を行っていました。現在では、島全体が亜熱帯植物楽園に整備され西表島から浅瀬の海をのんびり渡る「水牛車」が全国的に人気を呼び、八重山をはじめ沖縄観光の重要な資源とも言われます。

島につながる浅瀬の海は、通常は大人の膝にも満たないぐらいの深さで、満潮時でも1m程度しかなく、また、干潮時には徒歩で渡ることも可能です。同島は海拔0メートルの低地で、島内の地面を掘ると真水が湧き、更に掘り下げると海水が湧くと言われていました。

群星 【むりぶし】 Muribushi

C O N T E N T S

01

地域の目「巻き貝とダンスバトルの熱い一日」 沖縄テレビ放送(株) アナウンサー 伊藤 彰伸

特集

02

経済産業部

省エネ法が変わります

04

仕事の窓 財務部

第20回法人企業景気予測調査

06

仕事の窓 経済産業部

地域連携型雇用情報提供事業について

07

仕事の窓 経済産業部

ソーシャルビジネス55選について

仕事の窓

08

仕事の窓 開発建設部

節水啓蒙パンフの活用について

10

仕事の窓 開発建設部

沖縄みなとオアシス 第1号認定

11

仕事の窓 運輸部

バリアフリー基本構想策定支援セミナー

12

仕事の窓 運輸部

地域公共交通活性化・再生セミナー

局の動き

13

総務部 入札談合行為の排除・未然防止のための取組

財務部 第24回財務行政モニター会議を開催

農林水産部 国営伊是名地区 土地改良財産管理委託協定調印式開催

農林水産部 「消費者の部屋」特別展示を開催

農林水産部 農地法等の一部を改正する法律案の概要について

開発建設部 国道329号 宜野座改良 一部開通

運輸部 平成20年度「バリアフリー教室」の開催

18

なかゆくい *シリーズ ~沖縄国際映画祭~

20

内閣府だより 沖縄大学にて「地域再生システム論」開講

21

お知らせ

沖縄の

伝統的工芸品 #13

与那国織

よなくにおり



(登録商標)

産地組合: 与那国町伝統織物協同組合
(昭和62年4月18日伝産指定)

伝統的工芸品とは
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で
経済産業大臣が指定したものをいいます。沖縄には
13品目が指定されています。

我が国の最西端に位置する与那国島には「与那国ドゥタティ」、「与那国花織」、「与那国カガンヌブー」及び「与那国シダディ」の4種類の織物が先人達より受け継がれています。これらの織物を総称して「与那国織」と呼んでいます。起源は明らかではありませんが、1477年(文明9年)に与那国島に漂流した朝鮮人の見聞録の中に苧麻(チョマ)を材料とした織物が織られていたとの記録があることから、500年以上前から存在していたと考えられています。「ドゥタティ」は筒袖の着物です。与那国島の方言で4つのことを「ドゥーチ」と言い、4枚の布を併せて作成することからドゥ(4枚)タティ(仕立て)と呼ばれています。「カガンヌブー」は「ドゥタティ」に締める細帯のことであり、帯の中央に男女の愛を表すミトゥダギ(夫婦絆)と呼ぶ2つの絆模様があり、愛を告白するものとして女性から男性に贈られていました。また、「シダディ」は手拭いのことであり、かつては旅の安全と健康を祈る「守神」として織られていました。今日でも、島内の祭事では多くの人々がドゥタティにカガンヌブーを身にまとい、シダディを男性は肩に掛け、女性は頭に巻く姿が見られるなど、素朴でシンプルな用の美を感じさせる与那国織は与那国島の人々の生活の中に息づいています。

